



ぴったり技術で  
明日をつくる



# Business Report

第116期 中間事業報告書  
2019年4月1日▶2019年9月30日

ニチバン株式会社

## Contents

株主の皆様へ	1
ニュース	2
セグメント情報	3
CSR活動/海外の取組み	5
連結財務ハイライト	6



代表取締役社長

高津敏明

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2019年4月1日から2019年9月30日にいたる第116期(2020年3月期)中間事業報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

## 確固たる企業品質の基、『「ありたい姿」の実現に向けて』 中長期ビジョン

### 『NICHIBAN GROUP 2030 VISION』を推進

#### 第116期第2四半期(上半期)の業績について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦などの通商問題や日韓情勢の悪化および2019年10月の消費税増税による影響など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。このような状況のなか、当社グループは、2019年度より新たな「ニチバングループの理念」を策定するとともに、快適な生活を支える価値を創出し続け、グローバルに貢献する企業を目指した『NICHIBAN GROUP 2030 VISION』実現に向けて、その基盤を構築するための新中期経営計画【ISHIZUE 2023 ~SHINKA・変革~】を進めております。

売上高は、日韓情勢の悪化によるメディカル事業のインバウンド需要の鈍化や、米中貿易摩擦などに起因する企業心理の冷え込みによるテープ事業の需要低迷により、前年同期比4.4%減の222億8千5百万円となりました。営業利益は、売上高の減少に加え、テレビCMをはじめ販売促進活動による費用が増加したことや、BCP対応や最適生産体制を目的として物流拠点を再編したことによる移送費等も増加したことにより、販売費及び一般管理費が増加したため、前年同期比6.6%減の16億3千万円となりました。経常利益は、営業利益の減少により、前年同期比8.6%減の16億8千3百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、これらの影響により、前年同期比17.5%減の9億7千2百万円となりました。

#### 第116期下半期の取組みについて

当社グループは、2019年度に新たな「ニチバングループの理念」を策定するとともに、快適な生活を支える価値を創出し続け、グローバルに貢献する企業を目指した『NICHIBAN GROUP 2030 VISION』実現に向けて、その基盤を構築するための新中期経営計画【ISHIZUE 2023 ~SHINKA・変革】を進めてまいります。

新中期経営計画の取組み重点テーマ「イノベーション創出」に向け、開発企画体制強化のため、新たな経皮吸収貼付剤製品の開発企画を推進する「TDS推進ユニット」、テープ事業の新たな大型新製品開発・育成を推進する「TRD推進ユニット」を経営トップ直轄組織として新設し、新規事業創出への取組みを推進しています。また、もう一つの重点テーマ「グローバル市場へのスピーディーな展開および拡大」に向け、2019年1月、ドイツ・デュッセルドルフに、欧州地域で初めてとなるマーケティング調査と販売チャンネル探索の駐在員事務所を開設し、現地密着にて新規市場開拓に向けた活動を推進しています。また、タイ国の現地販社NICHIBAN (THAILAND) CO.,LTD.を通じて順調に売上が拡大しており、今後、さらに積極的な営業活動を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループの業績向上にご期待いただき、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 新中期経営計画

## 【ISHIZUE 2023 ～SHINKA・変革～】

2018年に創業100周年を迎え、次のステップの成長を目指すニチバングループ。

新中期経営計画【ISHIZUE 2023 ～SHINKA・変革～】を定め、「進化・深化」と「変革」に取り組んでいきます。



<中長期ビジョン実現に向けて>

『NICHIBAN GROUP 2030 VISION』実現の礎となる「進化・深化」と「変革」の5ヶ年計画とする。

### 基本戦略：取組み重点テーマ

#### 将来の持続的成長を担う人財育成

- ヒトを成長させる人をつくる
- 専門スキルの強化
- 次世代経営者の養成

#### 中長期成長エンジンの確立 イノベーションの創出

- イノベーションの創造推進
  - コア技術の深化・探求
  - 研究開発推進体制の転換
  - 新規事業の創出
  - 新TDS製剤の事業家実現
- 市場顧客インサイト分析・マーケットイン開発強化

#### 事業戦略推進に向けたAI・IoTの積極活用

- 戦略的データ活用  
～経営目標を達成する情報（データ）の戦略的活用～
- 業務プロセス変革  
～事業の付加価値を生み出す業務プロセス変革対応～
- 事業環境変化への対応  
～将来の事業環境変化への柔軟な対応とリスク低減～



#### グローバル市場へのスピーディーな展開・拡大

- グローバル事業推進体制・海外事業基盤の確立
- 商流獲得および事業拡大策としての業務提携・M&A活用
- グローバル人財積極獲得・育成

#### 事業推進体制の見直しと収益改革

- 顧客を基軸とした事業推進体制の見直し
- 営業利益・将来事業性視点の製品・活動スクラップ&ビルド 特販事業見直し
- 経営資源の最適配分（設備投資・要員配置）

## 中長期ビジョン

## 『NICHIBAN GROUP 2030 VISION』

確固たる企業品質の基、「ありたい姿」実現に向けて

2030年度 快適な生活を支える価値を創出し続け、グローバルに貢献する企業へ！

新製品比率 **30%** ・ 海外比率 **30%**

新製品比率



海外比率



#### イノベーション 新たな提供価値創出

- ユニット制<自律型>による新たな事業化・イノベーション創造推進
- コア技術深化と新技術の創出
- 社会の変化を先取りする新市場開発
- 全社生産性向上のための全員参加の業務変革

#### グローバル貢献 グローバルカンパニー推進

- 主要地域をカバーする海外販売拠点設立、現地密着営業体制の確立
- 海外生産拠点の拡充
- グローバル製品・ブランド確立
- 現地人財積極採用

### 主要戦略

2018年

第4次産業革命による社会構造の変化

CSR・SDGs 社会的価値観の変化

2030年  
中長期ビジョン

### ニチバングループの企業メッセージおよび理念をリニューアル

2018年の創業100周年を機に、企業メッセージおよびニチバングループの理念を新しく策定しました。

企業メッセージ「ぴったり技術で明日をつくる」は、ニチバングループの強みである粘着技術を活かし、皆様の快適で健康な生活に貢献していくという企業姿勢を表現しています。

グループ理念では、創業以来受け継いできた精神や企業風土を大事にしなが、[ニチバングループにかかわるすべての人々の幸せを実現]するという使命のもと、ニチバングループが目指す姿、実現のために必要な思考・行動を定義しました。

2019年4月1日から当社グループの想いとして、さまざまな場面で発信してまいります。

#### 企業メッセージ



ぴったり技術で  
明日をつくる

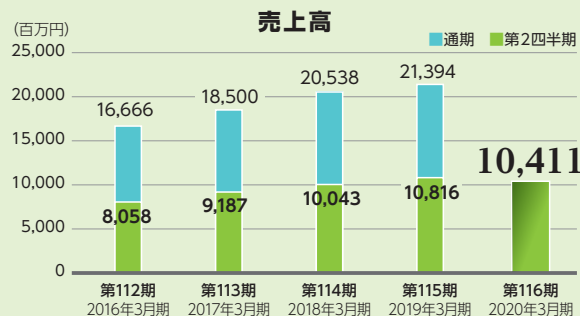


# MEDICAL

## メディカル事業



売上高比率  
**46.7%**



営業概況

ヘルスケアフィールド

ドラッグストアを中心とした大衆薬市場におきましては、大手ドラッグチェーンによる経営統合協議が開始されるなど業界再編の先行きの不透明な状況が続いております。このような状況のなか、高機能救急絆創膏「ケアリーヴ™」シリーズの売上は、認知拡大を目的とした「ケアリーヴ™ 治す力™」のテレビCMや「ニチバンのケアリーヴ™ イチバン選手権キャンペーン」を実施し、前年を上回りました。しかし、鎮痛消炎剤「ロイヒつば膏™」シリーズの売上は、日韓情勢の悪化にともなうインバウンド需要の急激な低迷により、前年を大きく下回りました。

医療材フィールド

医療機関向け医療材料市場におきましては、医療費削減の傾向により、衛生材消耗品に対するコスト要求は依然として高く、厳しい販売環境でありました。このような状況のなか、止血等に用いられる穿刺部被覆保護用絆創膏「セサブリック™」シリーズの売上は、好調に推移いたしました。また、極低刺激性テープ「スキナゲート™」シリーズについては、従来品と比べ入数を半分にしたスモールパックや粘性布伸縮包帯「スキナゲート™ ガチット」・全方向伸縮性粘着包帯「スキナゲート™ ピタット」を新発売したほか、既存製品の売上も前年を上回りました。しかし、フィールド全体としての売上は前年を下回りました。

TOPICS

### 高機能絆創膏「ケアリーヴ™ 治す力™」新テレビCMを放映

家庭用創傷パッド「ケアリーヴ™ 治す力™」の認知度向上を図るため、本年8月から9月にかけて、新しいテレビCM「僕は、ばんそうこう」篇（15秒／30秒）をオンエアしました。「ケアリーヴ™」のWebサイトではWeb限定のスペシャルムービーも公開しています。

「あなたといっしょに、治していく」をテーマにした新CMは、ある3人家族の日常に「ケアリーヴ™ 治す力™」が寄り添う様子を、心温まるタッチで描いています。仕事、家事、自転車の練習など、さまざまなシーンでキズを治し、家族を笑顔にする物語を、ばんそうこうの視点から表現しました。



TOPICS

### 「いろんなコリに！いろんなロイヒ！キャンペーン！」を実施

本年7月から8月にかけて、鎮痛消炎剤ロイヒ™シリーズ全製品を対象にした「いろんなコリに！いろんなロイヒ！キャンペーン！」を実施しました。キャンペーンでは、おそうじギフトカード、ホットプレート、バームクーヘン、飛騨牛サーロインステーキを抽選でプレゼントするなど、「ロイヒ」の販売促進を図りました。



TOPICS

### 「ニチバンのケアリーヴ™ イチバン選手権キャンペーン」を実施

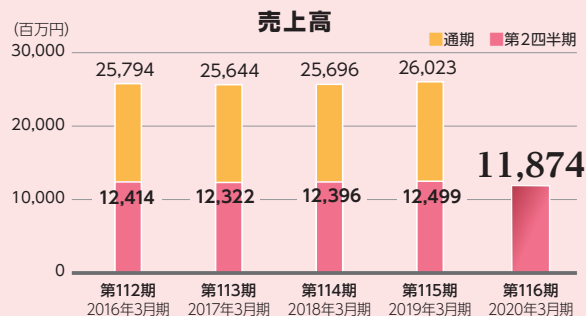
「あなたがイチバン身近で使うケアリーヴ™はどれ？」と題した「ニチバンのケアリーヴ™ イチバン選手権キャンペーン」を本年6月から8月にかけて実施しました。キャンペーンでは、グルメカタログ、QUOカード、ケアリーヴ™ Mサイズ30枚入り、松阪牛ステーキ肉を抽選でプレゼントするなど、「ケアリーヴ™」のPR活動を実施しました。



# TAPE テープ事業



売上高比率  
**53.3%**



## 営業概況

### オフィスホームフィイルド

文具事務用品市場におきましては、消費税増税前の駆け込み需要は見られず、米中貿易摩擦などの通商問題や日韓情勢悪化に対する警戒感から企業心理が一段と冷え込み、オフィス向け・学校児童向け需要とともに減少を続けており、厳しい販売環境でありました。このような状況のなか、注力しているキッチン雑貨ブランド“ディアキチ™ワザアリ™テープ”シリーズの売上は、販売促進活動を全国の雑貨店や大型スーパーに対し行ってまいりましたが、需要が伸び悩み、前年を下回りました。「セロテープ®」の売上は、「セロテープ®小巻カッターつきくまっすぐ切れるタイプ>」など付加価値のある製品を大手チェーンに対し販売活動を進めてまいりましたが、前年を下回りました。

### 工業品フィイルド

産業用テープ市場におきましては、米中貿易摩擦や中国経済の減速に対する警戒感、世界的な半導体需要の減少を背景に設備投資の先送りが始め、全体として厳しい販売環境となりました。このような状況のなか、消費税増税にともなう新車販売の駆け込み需要やオリンピックによる建設需要の高まりにより、自動車産業や建築業界向けの塗装マスキングテープ製品の売上については、好調に推移いたしました。包装用テープの売上は、消費税増税前の駆け込み需要は大きく見られず、依然として需要の回復も鈍く、前年を下回りました。また、食品結束用「たばねら™テープ」の売上も、台風など自然災害による青果物などへの影響があり、前年を下回りました。

## TOPICS

### 9月発売のプチジョア™新柄

可愛さと上品さを兼ね備えたデザインで展開するステーションナリー「Petit joie (プチジョア™)」シリーズの「プチジョア™ マスキングテープ」〔希望小売価格180円 (+消費税)〕に、本年9月24日、新しく6種類を追加しました。

新たに加わった柄は、「レトロフラワー」「ミモザ」「クリスタル」「あざらし」「目玉焼き」「インコ」。追加した6種類を含めると、ラインアップは74種類になりました。

本製品は、和紙ならではの柔らかな質感が特長のマスキングテープです。文房具や小物のデコレーションなど、さまざまな用途でお使いいただけます。



## 新製品情報

### フードパック固定用 易開封テープ

手で切れる加工を施し、簡単に開封できるようにしたフードパック固定用テープを新たに発売しました。色は、赤、緑、白の3色(テープは透明地)です。

コンビニエンスストアやスーパーマーケットで販売される弁当、惣菜に使う食品容器のふたをしっかりと固定することができるテープです。食品容器に調味料を固定・再貼り付けする時にも利用できます。

ゴム系の粘着剤を使用しているため、いやな匂いがほとんどないことも特長です。200m巻きの長尺タイプで、自動貼付機で作業中に切断することなく使用できます。



### セロテープ®の環境への配慮

セロテープ®はプラスチック製品ではなく、天然素材からできています。

多くの国では、プラスチックフィルムなどを利用した粘着テープが販売されています。これらの製品は、石油由来の原料を使っている上、焼却時にCO<sub>2</sub>や有毒ガスが発生するという問題を抱えています。

一方、セロテープ®の素材であるセロハンは、木材パルプを原料としています。さらに、粘着剤は天然ゴムや天然樹脂、巻心は再生紙が主成分であり、「バイオマーク」の認証も取得しています。

セロテープ®は、発売された1948年から、環境に配慮した循環型のエコロジー製品なのです。





## セロテープ® 工作を通じた社会貢献活動 「第1回みんなのセロテープ® 工作 ワークショップ」

社会貢献活動の一環として、発達に課題がある子どもたちを対象にした「第1回みんなのセロテープ® 工作ワークショップ」を本年2月16日、NPO法人ハッピースマイルのハッピーテラス八柱駅前教室（千葉県松戸市）で開催しました。

小学2年生から中学3年生まで15名が参加し、セロテープ® を使って立体物を作るセロテープ® 工作に挑戦しました。パンダや花、飛行機などを



子どもたちの作品（一部）

作り上げた子どもからは「新聞紙にテープを巻き付けていくところが楽しかった」「工夫して自分だけの工作ができた」といった感想が聞かれました。



工作中的様子

## ドイツ国際平和村の 医療支援活動をサポート

本年1月に開設したデュッセルドルフ駐在員事務所では、ドイツ国際平和村FRIEDENSDORF INTERNATIONALに救急絆創膏ケアリーヴ™などのメディカル製品を提供し、医療支援活動をサポートしています。本年7月6日に開催されたイベントでは寄付贈呈式を実施しております。

\*ドイツ国際平和村とは一戦争や内乱で負傷し、母国で治療を受けられない子ども達の医療支援活動を行っているNGO団体です。



ドイツ国際平和村イベント



寄付贈呈式の様子

## 第10回 ニチバン巻心ECOプロジェクト

巻心受付期間 2019年9月2日から12月27日まで実施



応募等の詳細は、特設WEBサイトをご覧ください。

使用済み粘着テープの巻心を回収し、資源として再利用する環境活動「第10回ニチバン巻心ECOプロジェクト」を、本年12月27日まで実施しています。全国から寄せられた巻心は業者に買い取ってもらいダンボールにリサイクルされます。その利益と当社からの支援金を環境NGOに寄付し、フィリピンでのマングローブの植樹や、島根県江の川「森のしずく」保全活動に役立てます。プロジェクト開始以来、毎年多数の皆様にご賛同いただき、累計の回収個数は320万個を超えました。

<https://www.nichiban.co.jp/project/makisin-eco/>



## 江の川「森のしずく」保全活動2019 植樹レポート

日本製紙株式会社の江津工場（島根県江津市）で、セロハンの主原料となる溶解パルプを生産していることから、同工場の水源である江の川流域に広がる同社の社有林でニチバンが行っているのが「森のしずく」保全活動です。本年は、第9回巻心ECOプロジェクトで約4,200個の巻心を集めた、大阪市立瓜破西小学校の子どもたちが植樹活動を行いました。

連結財務ハイライト

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期 2019年3月31日現在	当第2四半期 2019年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>32,430</b>	<b>31,859</b>
現金及び預金	8,228	9,758
1 受取手形及び売掛金	12,497	10,872
電子記録債権	3,130	2,727
たな卸資産	7,903	8,114
その他	670	387
<b>固定資産</b>	<b>27,899</b>	<b>27,340</b>
有形固定資産	22,399	21,827
無形固定資産	333	303
投資その他の資産	5,165	5,209
<b>資産合計</b>	<b>60,329</b>	<b>59,199</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>17,462</b>	<b>14,154</b>
支払手形及び買掛金	4,438	4,252
電子記録債務	5,978	5,686
1年内返済予定の長期借入金	2,000	—
その他	5,044	4,214
<b>固定負債</b>	<b>6,386</b>	<b>8,404</b>
長期借入金	—	2,000
退職給付に係る負債	2,800	2,909
その他	3,585	3,495
<b>負債合計</b>	<b>23,848</b>	<b>22,558</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	<b>35,193</b>	<b>35,378</b>
その他の包括利益累計額	<b>1,287</b>	<b>1,262</b>
<b>純資産合計</b>	<b>36,480</b>	<b>36,641</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>60,329</b>	<b>59,199</b>

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 2018年4月1日～ 2018年9月30日	当第2四半期 2019年4月1日～ 2019年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,318	3,466
1 投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,630	△1,092
財務活動によるキャッシュ・フロー	85	△844
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額	△225	1,529
現金及び現金同等物の期首残高	7,963	7,822
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,738	9,352

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 2018年4月1日～ 2018年9月30日	当第2四半期 2019年4月1日～ 2019年9月30日
<b>2 売上高</b>	<b>23,316</b>	<b>22,285</b>
売上原価	15,736	14,609
売上総利益	7,579	7,675
販売費及び一般管理費	5,834	6,045
<b>2 営業利益</b>	<b>1,745</b>	<b>1,630</b>
営業外収益	126	115
営業外費用	29	62
<b>2 経常利益</b>	<b>1,841</b>	<b>1,683</b>
特別利益	162	0
特別損失	241	218
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>1,762</b>	<b>1,465</b>
<b>法人税等</b>	<b>583</b>	<b>493</b>
<b>四半期純利益</b>	<b>1,178</b>	<b>972</b>
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>1,178</b>	<b>972</b>

Point 1 四半期連結貸借対照表および  
四半期連結キャッシュ・フロー計算書

四半期連結貸借対照表は、受取手形及び売掛金が減少したことにより、資産合計が減少しております。また、有形固定資産の取得による支出が減少したことにより、四半期連結キャッシュ・フロー計算書の投資活動によるキャッシュ・フローは増加しております。

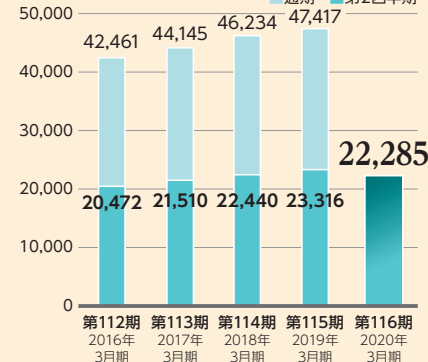
Point 2 四半期連結損益計算書

売上高は、日韓情勢の悪化によるメディカル事業のインバウンド需要の鈍化等により、前年同期比4.4%の減収となっております。また、営業利益および経常利益も、売上高の減少に加え、テレビCMをはじめとした販売促進活動による費用の増加や、BCP対応や最適生産体制を目的とした物流拠点の再編による移送費等の増加により、販売費及び一般管理費が増加したことで、前年同期比 営業利益6.6%、経常利益8.6%の減益となっております。

財務に関する詳しい情報は、当社ホームページ  
<https://www.nichiban.co.jp/ir/> をご覧ください。

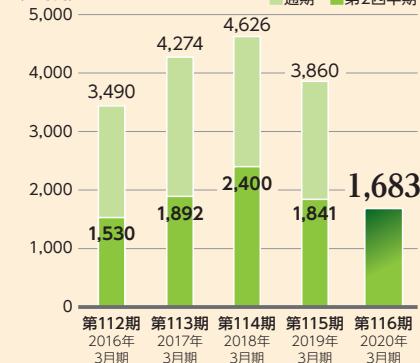
売上高

(百万円)



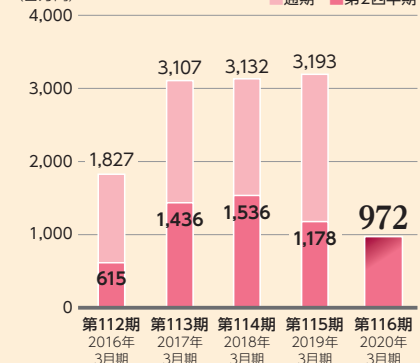
経常利益

(百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(百万円)



(2019年9月30日現在)

## 会社概要

創業	1918(大正7)年1月
本社所在地	〒112-8663 東京都文京区関口二丁目3番3号
資本金	54.51億円
従業員数	775名

## 役員

代表取締役社長	高津敏明	取締役	清水與二
専務取締役	酒井寛規	取締役	石原達夫
取締役相談役	堀田直人	取締役	佐藤彰紘
取締役執行役員	舘野英雄	常勤監査役	芹澤和弘
取締役執行役員	伊藤 暁	常勤監査役	高橋一徳
取締役執行役員	原 秀 昭	監査役	横井直人
		監査役	児玉安司

(注) 取締役のうち清水與二、石原達夫、佐藤彰紘の3氏は社外取締役、監査役のうち横井直人、児玉安司の両氏は社外監査役であります。

## 株式の状況

発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	20,738,006株
株主数	11,868名

## 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
大鵬薬品工業株式会社	6,758千株	32.61%
ニチバン取引先持株会	1,148	5.54
株式会社三菱UFJ銀行	1,034	4.99
株式会社みずほ銀行	1,034	4.99
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	540	2.61
株式会社りそな銀行	288	1.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	286	1.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	279	1.35
第一生命保険株式会社	277	1.34
FCP SEXTANT AUTOUR DU MONDE 香港上海銀行東京支店 カस्टディ業務部 Senior Manager, Operation 小松原英太郎	269	1.30

(注) 持株比率は自己株式(16,658株)を控除して計算しております。

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 ( <a href="https://www.nichiban.co.jp">https://www.nichiban.co.jp</a> ) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
お問合せ先		みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324
お取引の証券会社になります。		みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
お取扱店		みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店
	未払配当金のみ、株式会社みずほ銀行 全国本支店でもお取扱いいたします。	
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」のお問合せ先までご連絡ください。	単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

## ニチバン株式会社

〒112-8663  
東京都文京区関口二丁目3番3号  
電話：(03) 5978-5601  
<https://www.nichiban.co.jp/>

®は登録商標、TMは商標です。

## 株主優待制度について

## 目的

株主の皆様のご支援に感謝するとともに、当社製品に対する一層のご理解とご愛顧をいただき当社株式への投資魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加促進を図ることを目的としております。

## 内容

- ①対象となる株主様／毎年9月末の当社株主名簿に記載された株主様のうち、1単元(100株)以上を保有する株主様を対象といたします。
- ②贈呈内容／年1回、対象株主様お1人につき3,000円相当の当社新製品を中心とした「製品詰め合わせ」を贈呈させていただきます。
- ③贈呈時期／毎年11月中旬頃を予定しております。

## 贈呈内容の例



## ● IRニュース メール配信のご案内

適時開示、決算報告などのIR情報や新製品などの最新情報を、電子メールでタイムリーにお知らせいたします。配信をご希望の方は、当社ホームページ「株主・投資家情報」の「IRニュース メール配信登録」よりご登録ください。

[https://www.nichiban.co.jp/ir/ir\\_news/](https://www.nichiban.co.jp/ir/ir_news/)

